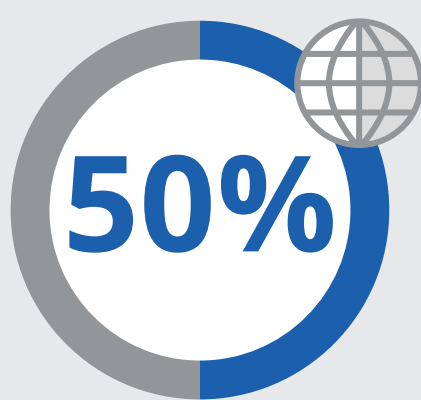


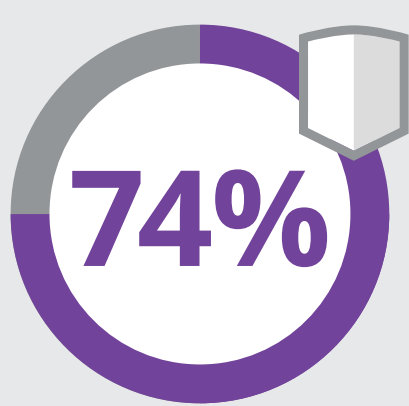
データ プライバシーは競争力の強化に役立つのか？

様々な法規制が制定され、頻繁に変更されています。このような状況で、データ プライバシーは競争力の強化に役立つと考えている企業も少なくありません。しかし、新しい一般データ保護規則 (GDPR) への準備は進んでいるのでしょうか。世界の様々な業種から800人を超える上級管理者を選び、現状を調査しました。



データを取り巻く環境の変化が激しい

半数以上の企業は、法規制や政策の変更に合わせてデータを移行すると回答しています。



データ保護はビジネスの差別化要因となる

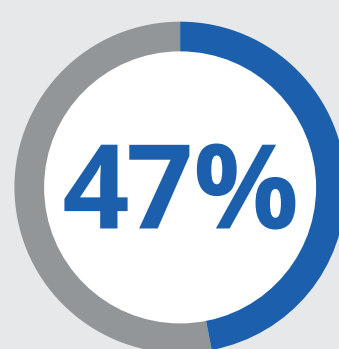
非常に多くの回答者が、適切なデータ保護は新たな顧客の獲得につながると考えています。

GDPRに対する認識、準備、対応 GDPR対策を計画してから平均で2年後:

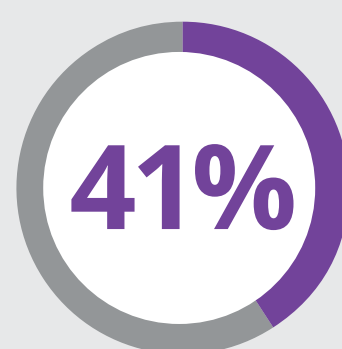
26%	侵害発生から72時間以内に報告できると考えている組織はごく少数です。
11日	侵害発生から報告までの平均で11日かかっています。
24%	約4分の1の組織は、報告までに2週間以上かかっていると答えています。
63%	10人中6人の経営陣は侵害の報告に躊躇すると答えています。
約半数	約半数は、侵害が世間に公表されるよりは罰金を払ったほうが良いと考えています。

データはどこに？

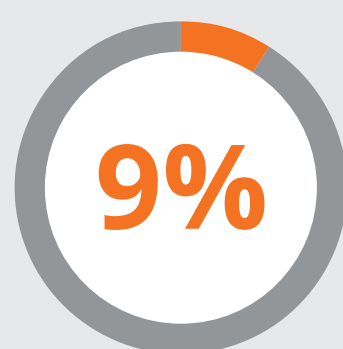
会社のデータが物理的にどこに存在するのか明確に把握しているかどうかを質問しました。



完全に把握
データがどこにあるのか常に把握している



どちらかという把握している
データがどこにあるのか大体は把握している



正確には把握していない
地域に保存されているデータは把握しているが、全体は分からない

GDPR 対策: データ レジデンスをwww.mcafee.com/beyondGDPRからダウンロードしてご覧ください。